

福島第一原子力発電所における原子力防災訓練（緊急時演習）の実施について【概要】

福島第一原子力発電所では、平成25年2月23日（土）に、原子力事業者防災業務計画ならびに原子炉施設保安規定に基づく「平成24年度 福島第一原子力発電所 原子力防災訓練（緊急時演習）」を実施しました。

この訓練は、原子力災害発生時に、事態の収束・復旧に向け、原子力防災組織があらかじめ定めた機能を有効に発揮できることを確認するために年1回実施するものです。

【訓練のシナリオ】 以下の過酷な条件を想定

福島第一の1～4号機は廃止、5・6号機は冷温停止中のところ、
・福島県浜通り地方において震度6強の地震が発生し、外部電源が喪失。
・その後、震度6強の地震による津波の襲来を受け、「交流電源を供給する全ての設備」、「原子炉施設を冷却する全ての設備」および「使用済燃料プールを冷却する全ての設備」の機能が喪失。

【主な訓練項目】

- 火災対応訓練
- 消防車による炉注水対応訓練
- ガレキ撤去訓練
- モニタリングポスト用発電機起動対応訓練
- 5・6号機中央操作室監視用電源確保訓練

（参加人数：約100名）

主な訓練の実施内容

○火災対応訓練

地震により火災が発生したとの前提で、自衛消防隊による消火活動を行う訓練



現場へ到着した自衛消防隊員



現場（大型機器点検建屋前）での消火活動

○ガレキ撤去訓練

津波により道路上に散乱したガレキ等の障害物を重機で撤去する訓練



現場へ向かう重機



現場（物揚場手前）でのガレキ撤去

○消防車による炉注水対応訓練

消防車を使用し、原子炉への注水を行う訓練



注水の準備（水処理建屋前）



注水の開始（水処理建屋前）

○モニタリングポスト用発電機起動対応訓練

外部電源喪失によりモニタリングポストが欠測に至るとの想定で、発電機を起動する訓練



発電機の起動前準備



発電機の起動開始